

令和3年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

佐賀市立城西中学校

5月に文部科学省による学力・学習状況調査を実施しました。全国的な義務教育の機会均等と水準向上のため、生徒の学力や学習の状況を把握・分析し教育の改善を図るとともに、生徒一人一人の学習改善や学習意欲の向上につなげることを目的としているものです。

結果を基に、本校生徒の学力の傾向を分析し、学力向上について対応策をまとめました。その概要についてお知らせいたします。

■ 調査期日

令和3年5月27日(木)

■ 調査の対象学年

小学校6年生児童(中学校3年生生徒)

■ 調査の内容

(1) 教科に関する調査(国語, 算数・数学)

- | |
|--|
| ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等に関わる内容。 |
| ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容。 |
- 調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、記述式の問題を一定の割合で導入する。

(2) 生活習慣や学習環境に関する質問紙調査

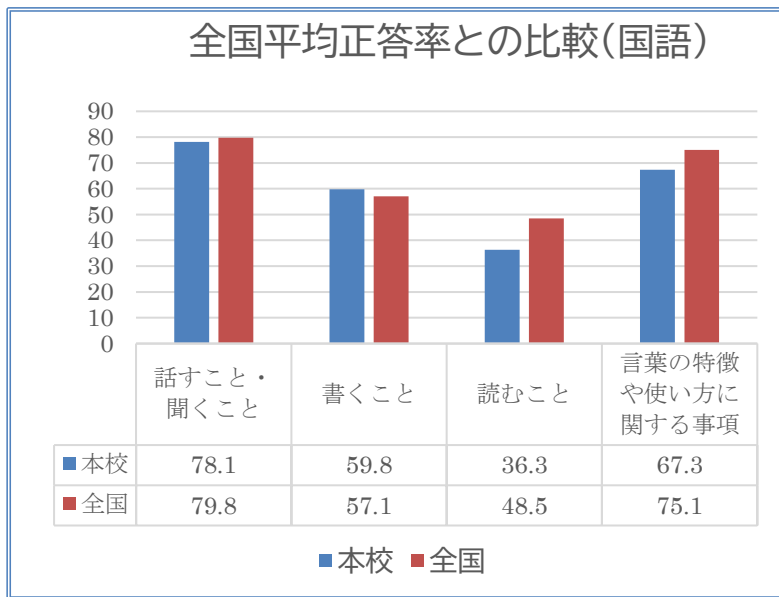
児童に対する調査	学校に対する調査
学習意欲, 学習方法, 学習環境, 生活の諸側面に関する調査 (例) 国語への興味・関心, 授業内容の理解度, 読書時間, 勉強時間の状況など	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 (例) 授業の改善に関する取組, 指導方法の工夫, 学校運営に関する取組, 家庭・地域との連携の状況など

■ 調査結果及び考察について

全国学力学習状況調査は中学3年生と限られた学年が対象であり、教科は国語と数学に限られています。さらに、出題は各教科の限られた分野(問題)です。したがって、この調査によって測定できるのは、「学力の特定の一部」であり「学校教育活動の一側面」であることをご理解の上、ご欄ください。

■ 調査結果及び考察

1 国語



偏差値比較 全国 (-2.5)

	偏差値	標準偏差
城西中	47.5	2.7
全国	50.0	2.8

4月時点の城西中の偏差値47.0 (NRTテスト)

(1) 結果

4領域のうち3領域で全国平均正答率を下回る結果でした。4月初旬に実施したNRテストの時点よりも、5月末のこの調査では、国語で+0.5ポイント向上していました。学力は4月～5月末の約2か月間でも伸びていました。一方、標準偏差は、全国に比べ低く、ばらつきが少ないことがいえます。

(2) 成果と課題

- 話すこと・聞くこと** 全国平均を1.7ポイント下回っていました。授業での『学び合い』で、根拠をはっきりさせ説明していくことを意識させていきます。
- 書くこと** 全国平均を2.7ポイント上回っていました。授業の『学び合い』で、相手や場に応じた言葉遣いで書くこと、伝えたい事柄を明確に書くことを意識させた成果が表れたといえます。
- 読むこと** 全国平均を大きく下回っていました。「読むこと」の学習で、読む目的や意図を明確にして学習に取り組ませ、文章の内容や形態に応じて読む力を身につけていきます。
- 言語事項** 全国平均を7.8ポイント下回っていました。教科書や辞書を活用しながら、話や文章の中において意味や用法を理解しながら読むことができるように指導していきます。

(3) 学力向上のための取り組み

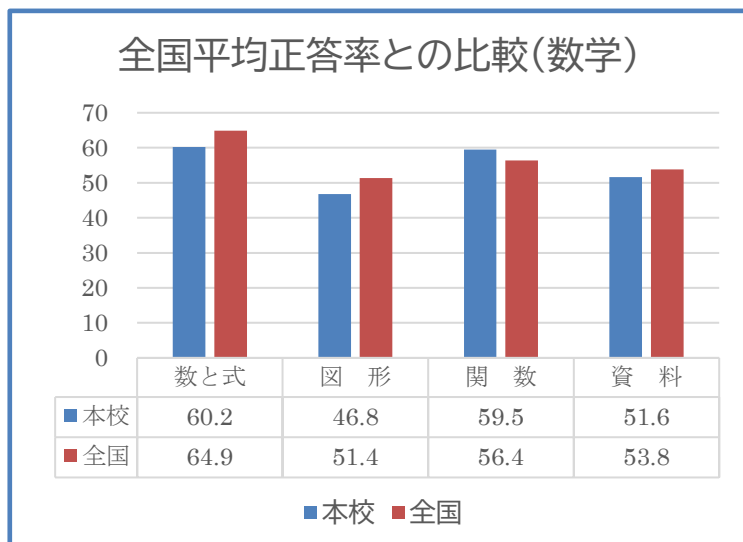
【学校では】

- 子どもが主体的に学べるように、『学び合い』の授業を行い、子供同士が話し合いながら、深く学んでいけるようにします。
- 日々の授業で力をつけていくように、全ての授業で「振り返り」の時間を設定します。
- タブレットや辞書を活用させ、多くの問題を解くことにより、語彙力、学力を向上させます。

【ご家庭では】

- 授業プリントやテスト答案など、間違ったところを復習することで、学力が大きく向上します。国語の学習をできるだけ毎日するように、家庭学習の習慣を身につけてほしいと思います。
- 国語の授業内容を尋ね、話題にして下さい。振り返りになり、学力向上につながります。
- 新聞や本、ニュース等から得た情報を共有し、話題にして下さい。知らない言葉が出てきたら、話題にして調べる週間を身につければ、語彙力を高めることができます。

2 数学



偏差値比 全国 (-1.1)

	偏差値	標準偏差
城西中	48.9	3.9
全国	50.0	3.7

4月時点の城西中の偏差値 48.1 (NRTテスト)

(1) 結果

全国平均をやや下回る結果でした。しかし、4月上旬に実施したNRTテストの時点よりも、5月末のこの調査では、+0.8ポイント向上していました。無解答率を見ると、ほぼすべての問題で全国平均より低くなっています。標準偏差が大きく、数学のばらつきがやや大きいことが気になりました。

(2) 成果と課題

数と式 全国平均を、4.7ポイント下回っていました。計算問題は、全国平均並みでしたが、方程式の立式や考察したりする問題は全国平均を下回っていました。問題を解くだけでなく、説明ができるように、今後丁寧に指導していくが課題です。

図形 全国平均を4.6ポイント下回っていました。図形に対する基本的な知識を身につけられるように指導していくことが課題です。

関数 全国平均を3.1ポイント上回っていました。関数関係については、理解できている生徒が多く、今後、応用的な課題が解くことができるようにしていくことが課題です。

資料の活用 身の回りにある活用問題を考えさせ、知識の定着を計っていくことが課題です。

問題形式別 選択式、短答式は全国平均を下回っていますが、記述式では、0.3ポイント上回っていました。今後、多くの問題を解くことにより、問題を解決する力を身につけさせることが課題です。

(3) 学力向上のための取り組み

【学校では】

- 機械的に問題を解くだけでなく、式、絵や図、具体的場面を行き来させ、理解を深めるようにします。
- 本校で取り組んでいる『学び合い』により、自分の考えを、式や言葉を使って、論理的に書く機会を増やし、記述力の向上に努めます。
- TT授業、ノートチェック、プリント、ドリル、家庭への課題など、日々の指導の中で個々のつまづきを個に応じた指導を行い、学力向上に努めます。

【ご家庭では】

- 生徒の授業プリント等の宿題の様子やテストをご覧になって、学習内容を家庭内での話題にし、家庭学習につなげて下さい。自学ノートを活用し、もう一度挑戦するとよいと思います。
- 日頃の生活の中で見られる数学の事象も数多くありますので、一緒に調べていくと生徒の学習意欲の向上につながっていくと思います。

4 生活習慣や学習習慣に関する調査

(1) 結果 《生活習慣・挑戦心・規範意識について》

調査項目	本校 %	全国平均 %
朝食を毎日食べていますか。	83.9	81.8
毎日同じくらいの時刻に寝ていますか。	38.4	36.3
毎日同じくらいの時刻に起きていますか。	66.1	57.6
自分にはよいところがあると思いますか。	31.3	34.5
難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか。	23.2	20.0
人の役に立つ人間になりたいと思いますか。	87.5	74.3
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	90.2	81.4

朝食・起床・就寝については全国平均を上回っています。就寝時間・起床時間も全国平均を上回っています。学校生活でも、遅刻が少なく、授業開始時間も全校生徒が守ることができ、生活リズムが身についている生徒が多数いることがいえます。自分の良さについては、全国平均を下回っています。しかし、挑戦することでは、全国平均を3.2ポイント上回り、よりよく生きようとする生徒が多数見られることがいえます。いじめの項目に関しても、全国平均を上回る高い意識を持っており、人権意識の高さは、城西中として誇りにしてよいと思います。

《家庭学習の様子》

調査の項目	本校%	全国平均 %
家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。	14.3	19.4
学校の授業時間以外に、普段1日当たりどれくらいの時間勉強していますか。「3時間以上」	5.4	12.3
「2時間以上、3時間より少ない」	18.8	29.5
「1時間以上、2時間より少ない」	26.8	34.1
「30分以上、1時間より少ない」	21.4	14.1
「30分より少ない」	16.1	6.4
「全くしない」	11.6	3.5
新型コロナウイルス感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、勉強について不安を感じましたか。	23.2	34.6

家庭学習については、どの項目も全国平均を下回っていました。一つの教科について授業の復習15分、予習15分とすれば30分はかかります。必要な教科を絞り込んだとしても、1日最低、2時間程度は必要と思われます。それに加え、入試に向けて問題集や参考書を見る時間も必要です。中学校の学習時間は、(学年+1)時間を推奨していますが、習慣化するためには、相当な決意と努力が必要です。コロナによる臨時休校中、規則正しい生活を送ったと意識できた生徒は非常に多く見られました。

(2) 改善に向けての取り組み

【学校では】

- 学校では、自学ノート等学年に応じた課題を出し、毎日取り組んでいます。今後も、家庭学習につながるような課題を出すなど、工夫していきます。
- 道徳や特別活動、学校行事等、生徒の役割を入れた体験活動を行い、自己肯定感を育てていきます。いじめのない学校づくりのために、道徳教育の充実、相談しやすい環境を継続してつくっていきます。

【ご家庭では】

- 学校便り、「学年便り、授業プリント等」を閲覧になり、学校に関する会話をし、コミュニケーションを毎日取っていただきたいと思います。毎日、決まった時間に家庭学習を行うように声かけをお願いいたします。
- 情報通信機器を使っている時間が非常に長い生徒も見られます。情報津新機器の使い方については、ご家庭でしっかりとお子さんと話し合っ、各家庭のルールを決めていただくようお願いいたします。